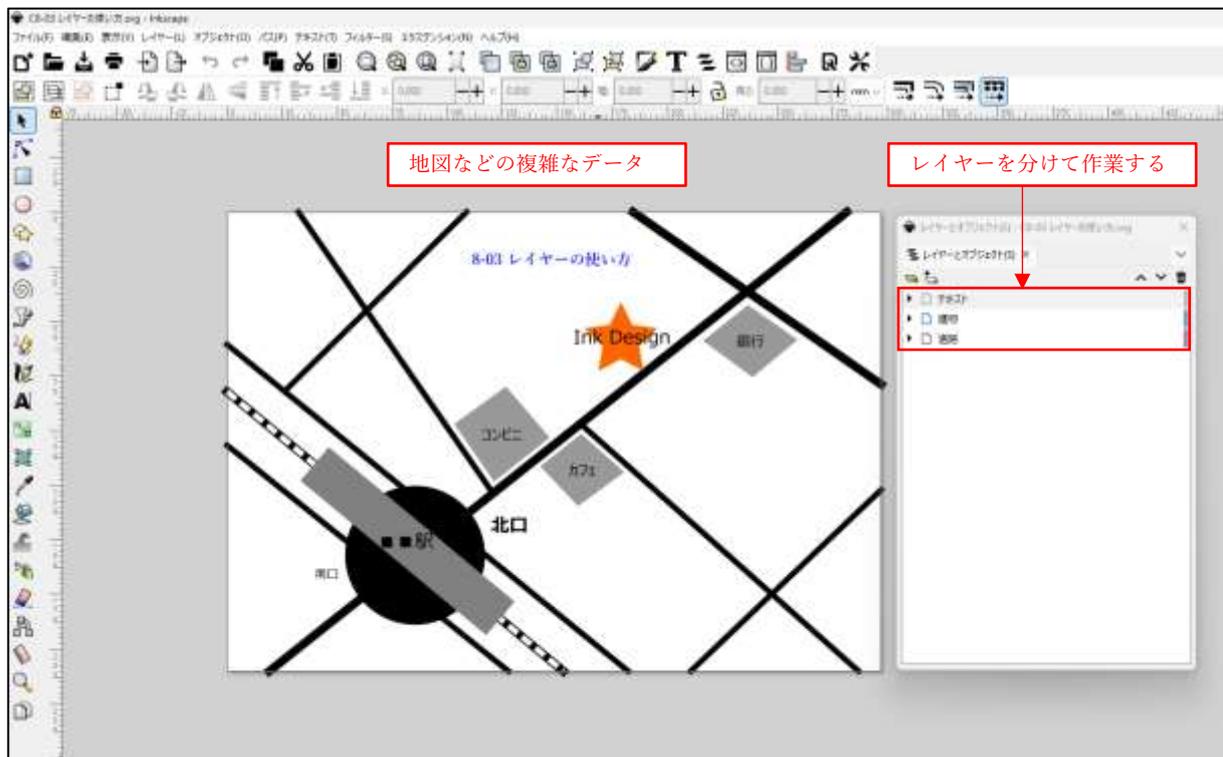


8/03 レイヤーの使い方

1 レイヤーの基本と使用用途

- ① レイヤーは複雑な画像を作成するときに役立ちます。
例えば地図のようなデータを作成するときは、道路や路線を[道路]、建物を[建物]、地図に配置するテキストを[テキスト]などと名前を付けて分けて保持することができます。
- ② レイヤーごとに表示／非表示の切り替えをしたり、レイヤーに配置されているオブジェクトを固定したりすることで、重なっているオブジェクトを間違えて編集してしまうなどの誤操作をふせぐことができます。
- ③ レイヤーを複製して、表示／非表示を切り替えることで、別のデザイン案を素早く検討することもできます。



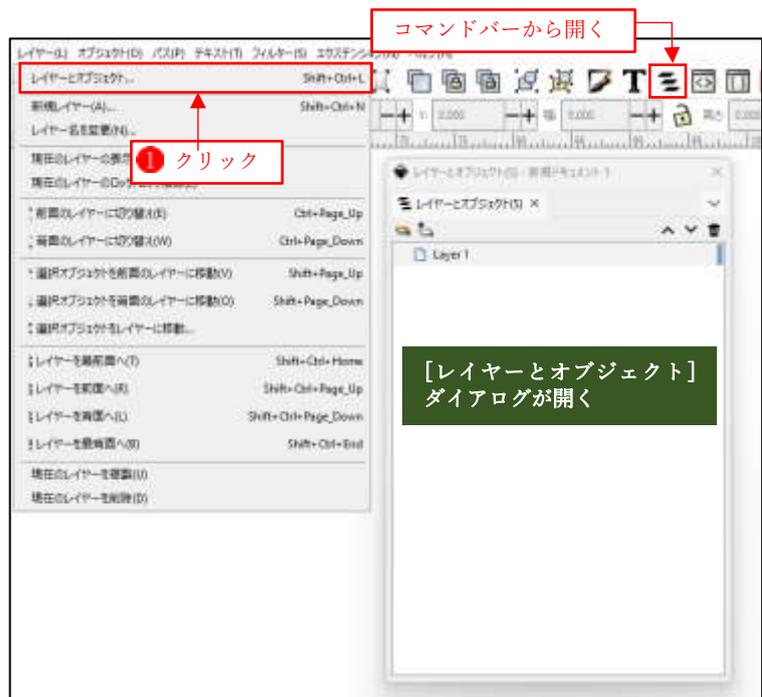
2 レイヤーを操作する

1 レイヤーを表示する

レイヤーを表示するには[レイヤー]→[レイヤーとオブジェクト]をクリックします①。

MEMO コマンドバーでの操作

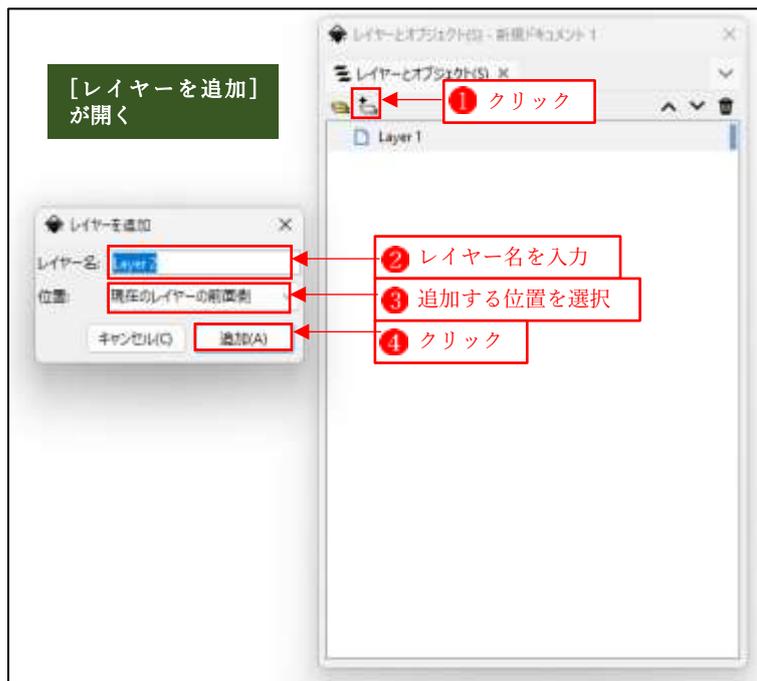
コマンドバーの[オブジェクトを表示します]をクリックしても同様です。



2 レイヤーを追加する

レイヤーを追加するには[レイヤーを追加]をクリックします①。レイヤー名を入力し②、レイヤーの位置を選択して③、[追加]をクリックします④。

レイヤーの追加位置は[現在のレイヤーの前面側/背面側/サブレイヤー]の3つの中から選択できます。サブレイヤーとはレイヤーをグループ化して階層構造にするときに使います。

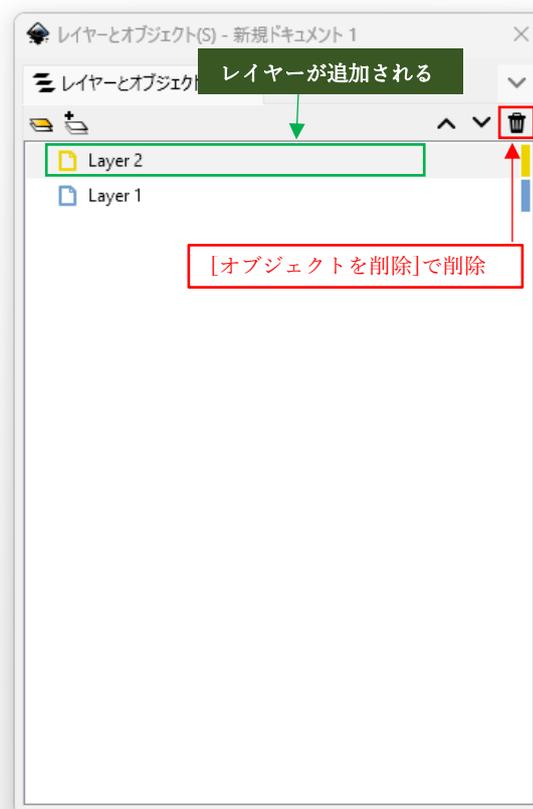


3 レイヤーが追加される

[レイヤー2]が追加されました。

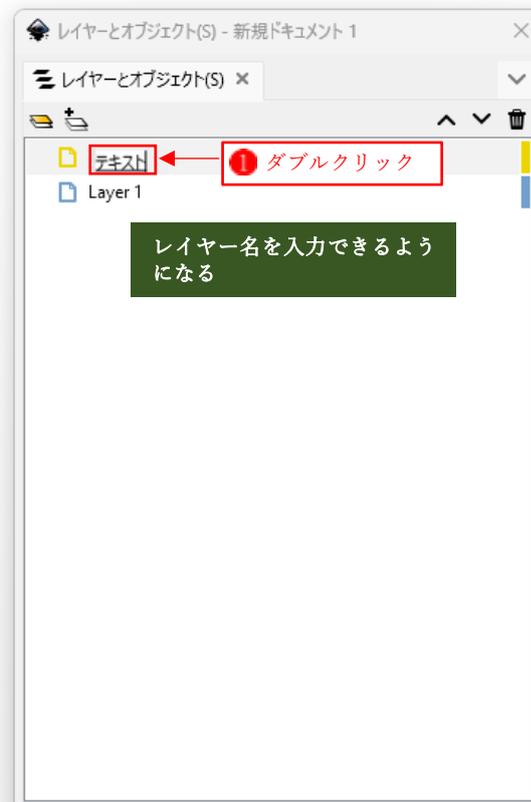
MEMO レイヤーの削除

レイヤーを削除するには、削除するレイヤーを選択して[オブジェクトを削除]をクリックします。



4 レイヤーの名前を変更する

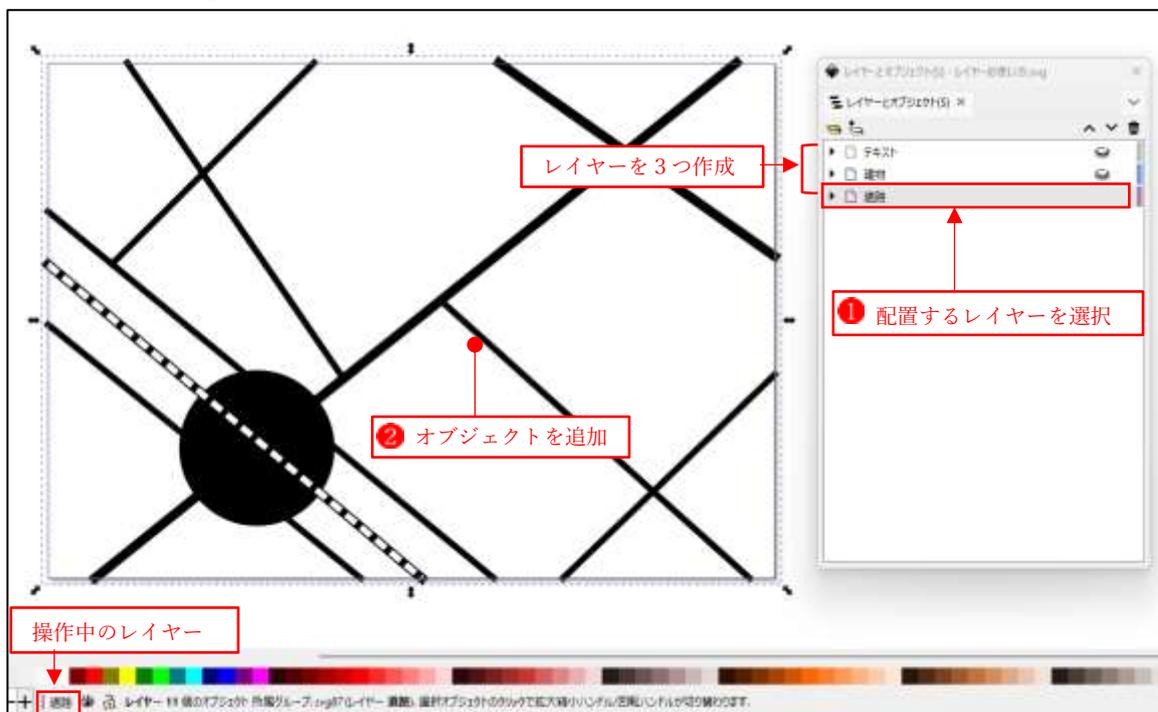
レイヤーの名前をあとから変更するには、レイヤーの名前をダブルクリックします①。文字が入力できるようになり、自由に名前を変更することができます。



3 レイヤーにオブジェクトを登録する

1 レイヤーにオブジェクトを配置する

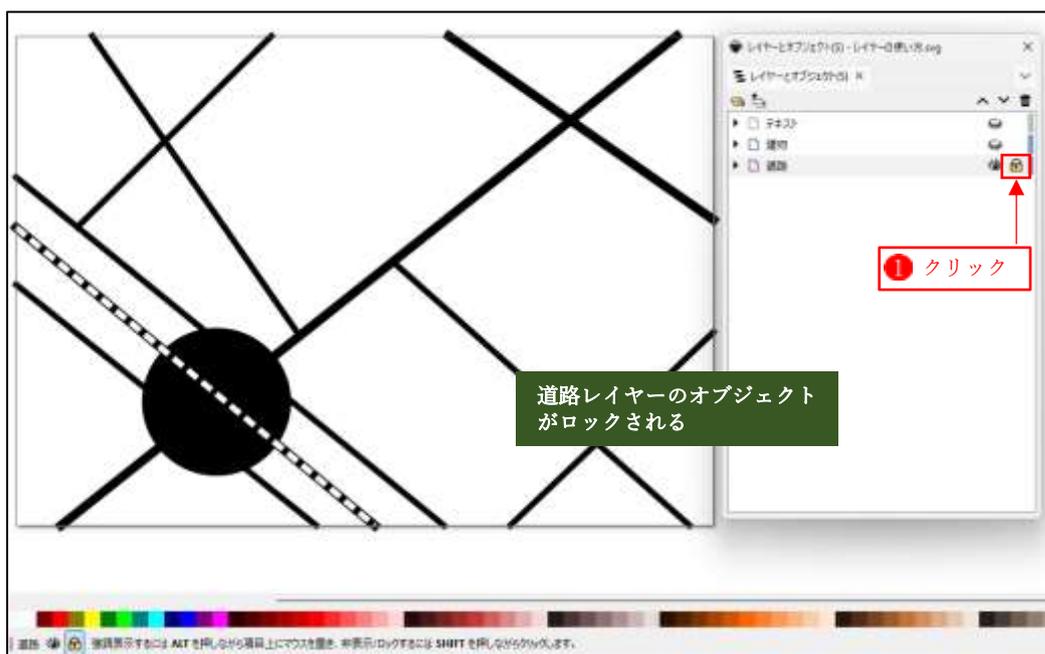
3つのレイヤーを用意して、オブジェクトを配置するレイヤーを選択します①。オブジェクトを追加すると②、選択したレイヤーにオブジェクトが自動的に登録されます。



2 レイヤーをロックする

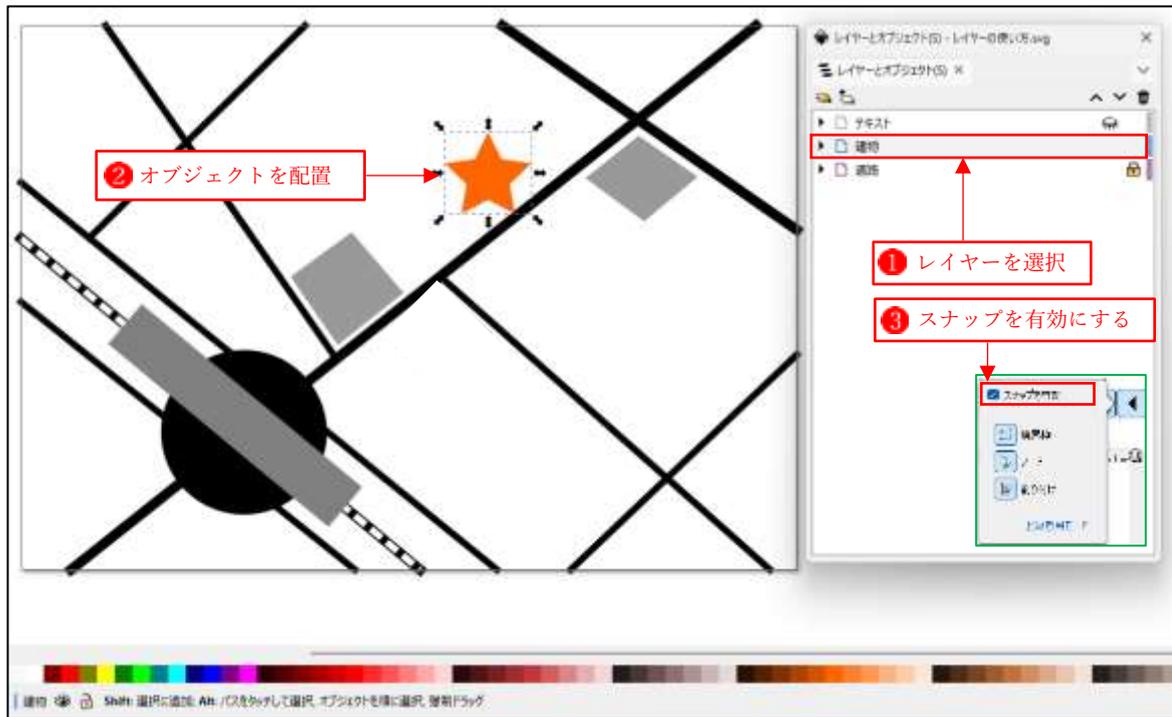
別のレイヤーにオブジェクトを配置する前にレイヤーをロックしておきます。

鍵のアイコンをクリックします①。鍵が閉じられているとロック状態です。ロックされたレイヤーでは、オブジェクトを移動してしまったり、変形してしまったりすることがなくなります。



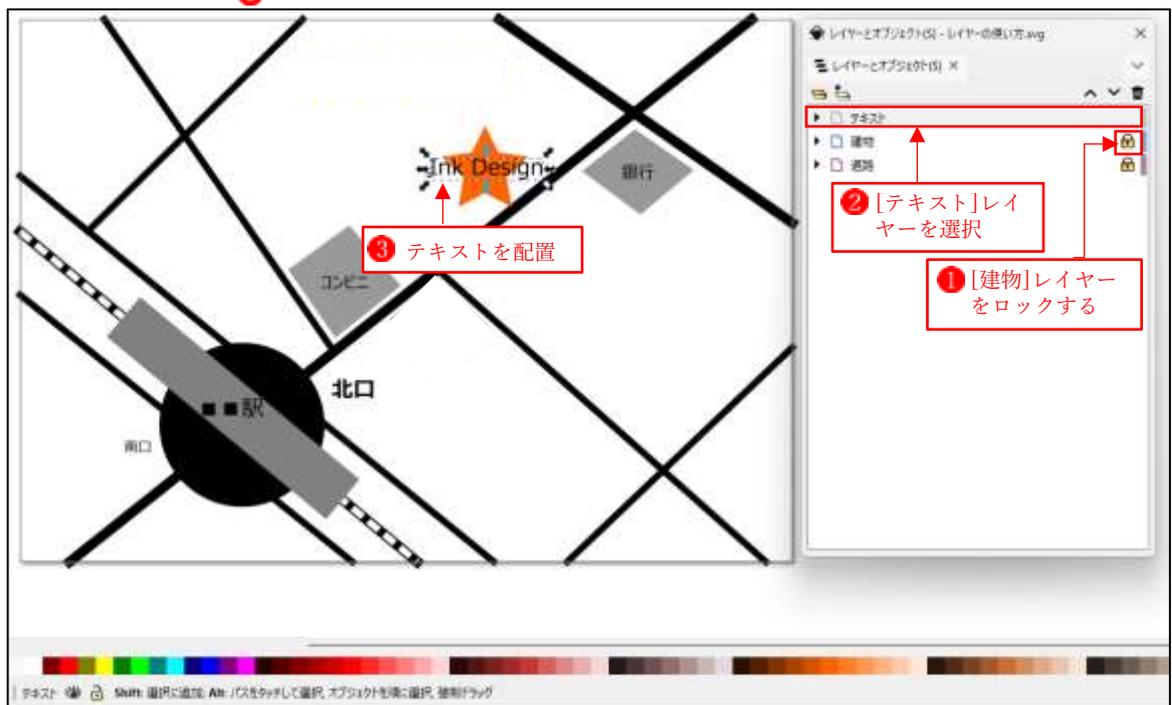
3 オブジェクトを配置する

レイヤーを[建物]レイヤー切り替えて①、新たなオブジェクトを配置します②。このとき、スナップ機能を有効にしておく③、ロックされたレイヤーのオブジェクトにスナップして配置することができます。



4 テキストを配置する

[建物]レイヤーにロックをします①。レイヤーを[テキスト]レイヤーに切り替えて②、テキストを配置します③。



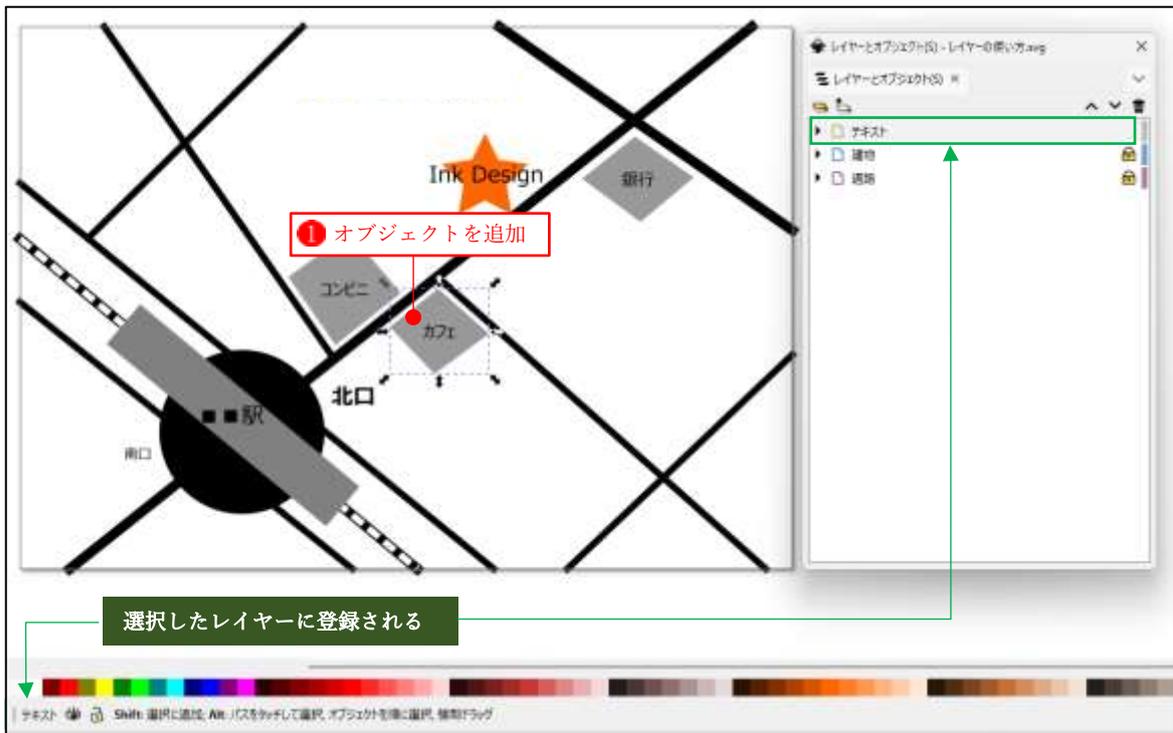
Step Up レイヤーの表示/非表示

レイヤーの表示/非表示を切り替えるには、レイヤーの右端にある[目]のアイコンをクリックします。目の空いている状態のときレイヤーのオブジェクトが表示され、目が閉じている状態のときレイヤーのオブジェクトが非表示にされます。

4 オブジェクトを他のレイヤーへ移動する

1 新たにオブジェクトを追加する

現在選択中のレイヤーに、新たにパスとテキストを追加しました^①。テキストはそのまま、パスを別レイヤーに移動します。



2 [レイヤーへ移動]を開く

移動させるパスを選択して^①、右クリックメニューから[他のレイヤーへ移動]をクリックします^②。



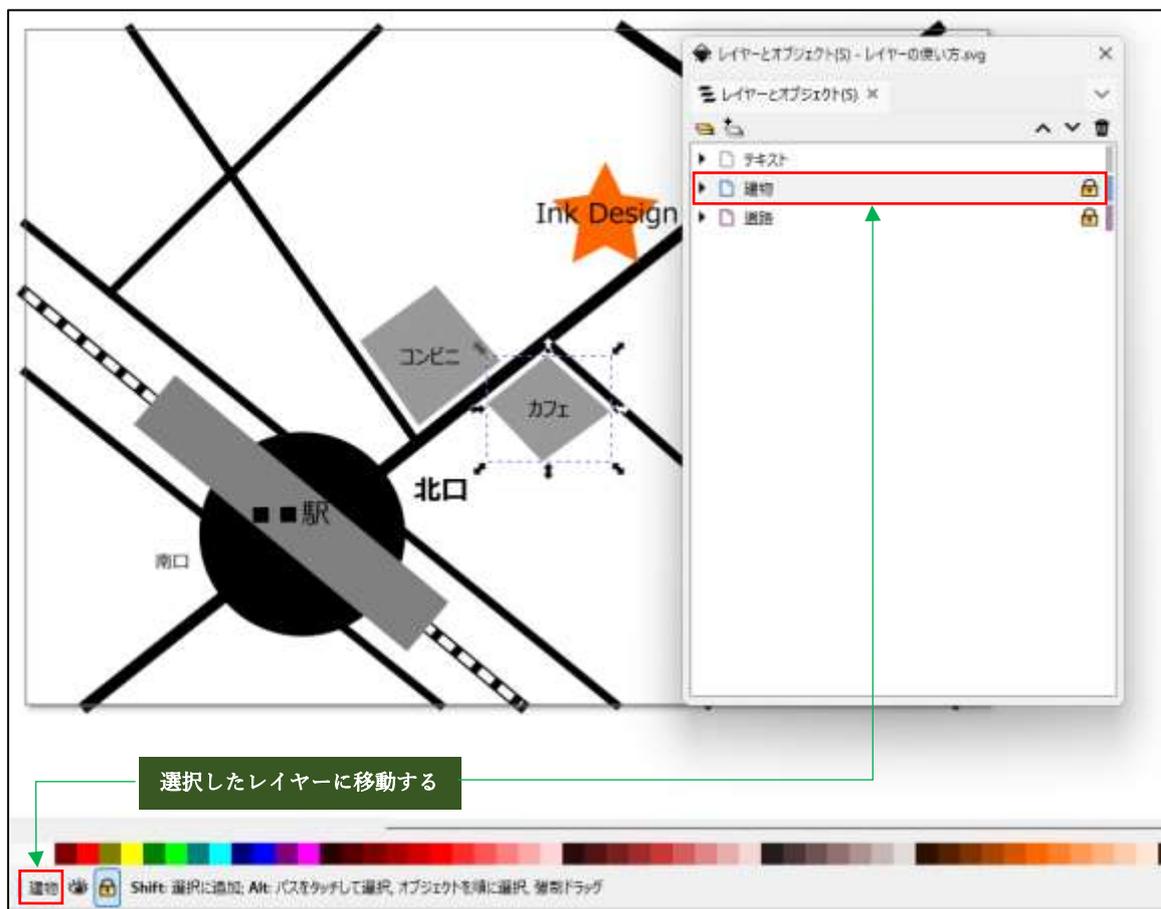
3 移動先を選択する

[レイヤーへ移動]のダイアログが表示されます。移動先のレイヤーを選択して①、[移動]をクリックします②。



4 別のレイヤーに移動させる

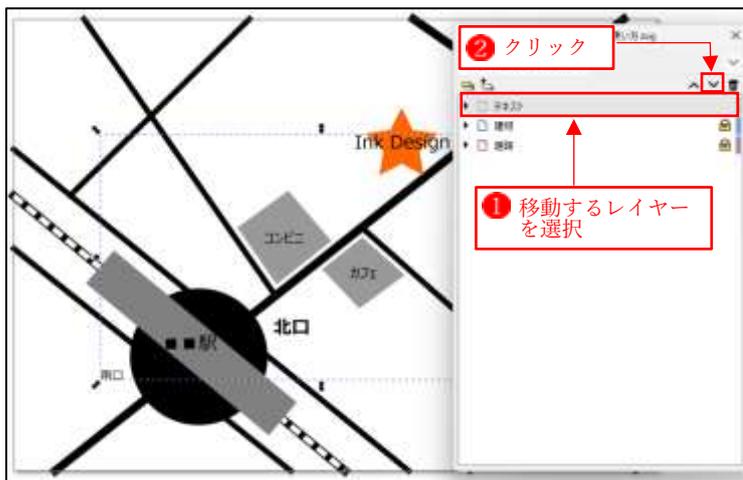
オブジェクトが移動しました。ステータスバーに移動後のレイヤーが表示されます。



5 レイヤーの順番とサブレイヤー

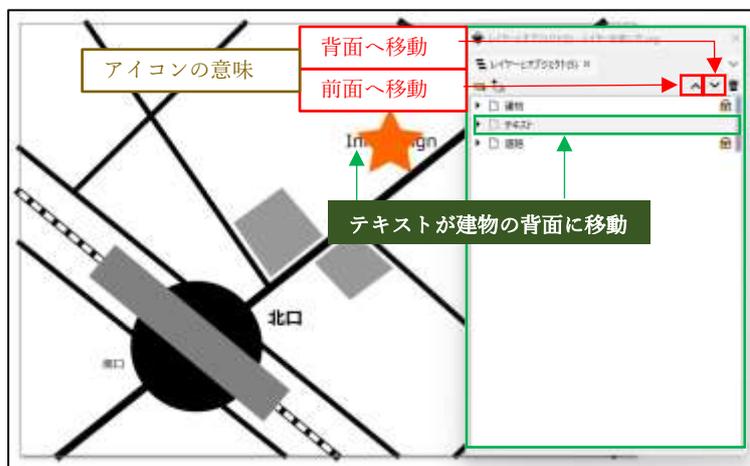
1 レイヤーを移動する

[テキスト]レイヤーの位置を移動します。[テキスト]レイヤーを選択して①、[下へ移動]のアイコンをクリックします②。



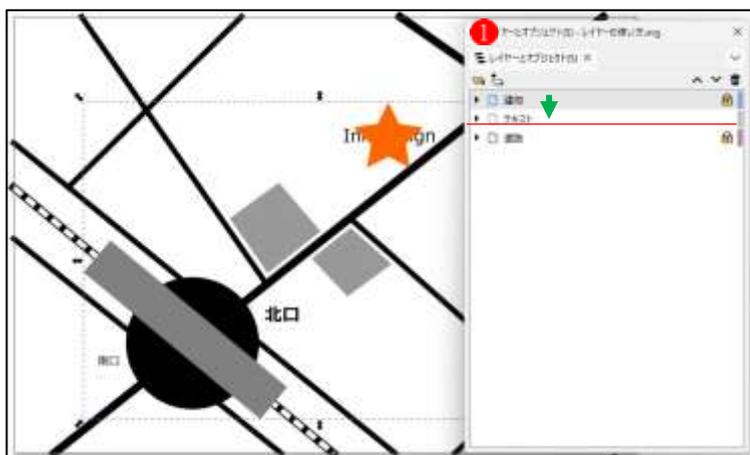
2 レイヤーが移動される

レイヤーが一つ背面側に移動しました。オブジェクトの表委はレイヤーの順番通りになるので、[テキスト]に配置されているオブジェクトが[建物]に配置されているオブジェクトの背面に移動します。



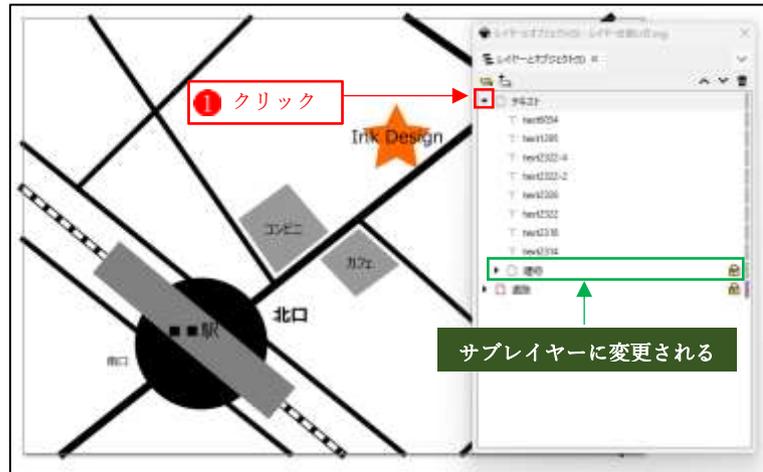
3 レイヤーをサブレイヤーにする

[建物]レイヤーをドラッグして①、[テキスト]に重なる位置でマウスを離します。



4 サブレイヤーに変更される

[テキスト]レイヤーの左に表示された[▼]ボタンをクリックすると①、[建物]レイヤーが移動したことがわかります②。



Step Up 親子レイヤーとの関係

サブレイヤーが含まれているレイヤーを非表示にすると、その中に含まれているサブレイヤーも同時に非表示になります。サブレイヤーは親レイヤーの状態を引き継ぎます。

6 不透明度とブレンドモード

[ブレンドモード]①、[ぼかし]②、[不透明度]③の設定は、[フィル・ストローク]ダイアログで行います。

1 ブレンドモード

ブレンドモードとは、レイヤーをどのように重ね合わせるかを指定するものです。レイヤーには上下関係があり、上位のレイヤーが下位のレイヤーを覆い隠します。ブレンドモードを変更することで、単純に覆い隠すのではなく、上位と下位の明るい部分だけを抽出するなどの計算を行わせることができます。ブレンドモードは16種類あり、必要に応じて使い分けます。

2 ぼかし

オブジェクトに[0%~100%]の範囲でぼかしを入れることができます。

3 不透明度

オブジェクトを[0%~100%]の範囲で不透明度を設定することができます。

